

2020年度

特定非営利活動法人かわうそ復活プロジェクト

総会 資料

2020年5月25日 当会 事務所

2019 年度事業報告

2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人
かわうそ復活プロジェクト

1. 特定非営利活動に係る事業

以下の事業を行いました。

① 自然・環境学習事業

- ・定例観察会として、大洲城山周辺で毎月第 2 日曜日に観察会を継続的に開催しました。
- ・一般向けの勉強会としての「自然に学ぶつどい」を、2/22(土)に「みなと交流館」会議室にて、「タンポポ調査・西日本 2020」の中間報告と今年の調査のお願いと、肱川上流の魚調査の報告を松田がお話ししました。
- ・学校に向けて、総合学習などの自然体験活動へ講師を派遣しました。支援先は、大洲市立肱川小学校、大洲市立平小学校、大洲市立平野中学校、内子町立五十崎中学校、内子町立内子小学校、内子町立立川小学校、内子町立立川幼稚園、県立大洲農業高等学校、県立宇和高等学校など。
- ・地域で行われる観察会に講師を派遣しました。支援先は、内子町大瀬自治センターと五十崎自治センター、NPO 法人内子未来づくりネットワークなど。
- ・八幡浜市民スポーツセンターで 11/16(土)に開催された「青少年のための科学の祭典」にブースを出展し、自然の不思議さや大切さを普及しました。
- ・セブン-イレブンみどりの基金から助成金を受けて作成した「愛媛の鳥図鑑 - 山野編-」の販売を継続しています。
- ・八幡浜市役所で 6/21(金)に行われた八幡浜市鳥獣被害防止対策協議会に出席して、「2019 年 八幡浜市での哺乳類調査報告」と題して、イノシシの撮影頻度とニホンジカの北上について、お話ししました。

② 自然・公園管理事業

- ・平成 23 年度に「堂ヶ谷トンボの里」の改修事業が「堂ヶ谷トンボの里をしらべる会」によって行われ、その後の管理作業に協力しました。

③自然修復・再生事業

- ・身近な水環境一斉調査(全国水環境マップ実行委員会主催)に協力するかたちで、河川等の水質調査を行いました。
- ・矢落川のオオフサモ(特定外来種)の除去実験を、大洲河川国道事務所 肱川出張所と大洲農業高校に協力して行っており、経過を観察しました。
- ・「肱川上流の魚図鑑」の準備のため、肱川上流の魚類の調査を継続しました。
- ・直翅目と植物相の調査について三浦保愛基金に助成金を申請しましたが、採択されず調査ができませんでした。
- ・私設保護区である「サンクチュアリどんぐり」で、環境省の推進するモニタリングサイト 1000 の里地調査の一般サイトに登録して、生物調査を実施しました。調査項目は、植物相、鳥類、チョウ類、ホタル類(以上ラインセンサス方式)、中・大型哺乳類(センサーカメラを使用)、人為的インパクト(植生図作成)の6項目です。愛媛大学社会共創学部の渡邊ゼミの学生さん1名と人為的インパクトの項目として昨年度一部残っていた植生図を完成させました。
- ・中・大型哺乳類のノウハウを利用して、八幡浜市と協働して、イノシシの撮影頻度の調査を継続中します。また、八幡浜市のセンサーカメラ4台の運用を委託で受け、継続中です。
- ・北上しているニホンジカの個体群の動向の調査を、中・大型哺乳類のノウハウを利用して継続中です。
- ・環境基本計画を作成している内子町の実施計画にかかわる調査に継続して協力しました。内容としては、平岡の柿原川でゲンジボタル、袋口の麓川でゲンジボタルとヘイケボタルの調査を行いました。
- ・特定非営利活動法人 内子未来づくりネットワーク(うちみづネット)が県生物多様性センターから委託された事業において、トンボの観察会の企画・運営の支援と講師を行いました。
- ・大きな榎の木の下で実行委員会より、内子町小田川における環境調査の委託を受け実施しました。調査項目は、鳥類、魚類、カニかごでした。
- ・タンポポ調査・西日本 2020 に協力して愛媛実行委員会に加わり、南予北部を主に担当しました。

※下線部は新規および変更部

2019年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

特定非営利活動法人 かわうそ復活プロジェクト

科 目	実 績	備 考
I 収入の部		
1 事業収入		
自然・環境学習事業	71,200	
自然・公園管理事業	0	
自然修復・再生事業	0	
助成金申請事業1	0	三浦保「愛基金」: 不採用
八幡浜市委託事業	99,360	センサーカメラ調査維持関連業務
調査委託事業	150,000	内子小田川調査業務
2 寄付金等収入		
寄付金収入(法人)	0	
寄付金収入(個人)	34,000	
3 雑収入		
受取利息	2	
当期収入合計(A)	354,562	
前期繰越収支差額	293,749	
収入合計(B)	648,311	
II 支出の部		
1 事業費		
自然・環境学習事業	19,480	
自然・公園管理事業	0	
自然修復・再生事業	34,564	
助成金申請事業1	0	三浦保「愛基金」: 不採用
調査委託事業	120,000	内子小田川調査業務
2 管理費		
保険費	12,000	
消耗品費	59,241	
図書費	0	
会議費	5,378	
運営費	69,480	
当期支出合計(C)	320,143	
当期収支差額(A) - (C)	34,419	
次年度繰越収支差額(B) - (C)	328,168	

(単位:円)

平成31年/令和元年度の収支決算について監査したところ、
会計帳簿、貯金通帳、現金、領収書等の処理が適正に行われていることを認めます。

R. 2年 4月20日

監査場所: 法人事務所

会計監査

中 田 博 文 

2019年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2020年3月31日現在

特定非営利活動法人 かわうそ復活プロジェクト

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金貯金			
現金 現金手許有額	16,311		
普通預金 伊予銀行／八幡浜支店	311,857		
流動資産合計		328,168	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			328,168
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			328,168

(単位:円)

2019年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2020年3月31日決算

特定非営利活動法人 かわうそ復活プロジェクト

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金貯金	328,168		
流動資産合計		328,168	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			328,168
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		293,749	
当期正味財産増加額		34,419	
正味財産合計			328,168
負債及び正味財産合計			328,168

(単位:円)

中期事業計画

特定非営利活動法人
かわうそ復活プロジェクト

- ①自然観察を行う際に名前を知ることが親しみをもつことに有効である。
地域（南予）のかたが身近な生きものを見分ける道具となる地域限定の図鑑を少しずつ整備していく。
- ②住民みずから生きもののにぎわいを実感することが必要である。
住民自らが、身近な自然を調べ、長期で見守るための手法を実地で行いながら学ぶ。

2020 年度事業計画（案）

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人
かわうそ復活プロジェクト

1. 特定非営利活動に係る事業

以下の事業を行う。

① 自然・環境学習事業

- ・ 定例観察会（毎月）として、大洲城山で、第 2 日曜日に観察会を継続して行います。
- ・ 一般市民向けの勉強会として、「自然に学ぶつどい」を実施します。
- ・ 学校に向けて、総合学習などの自然体験活動の支援を行います。
- ・ 地域で行われる観察会に講師を派遣します。
- ・ 八幡浜市で開催される「青少年のための科学の祭典」に出展し、自然の不思議さ、大切さを普及します。
- ・ 「肱川上流の魚図鑑」を出版し、流域対象区域の小中学校、有識者などへ配布します。「三浦保」愛基金に申請しています。

② 自然・公園管理事業

- ・ 行政関係からの公園等の保全に係る受託事業を受けられるように提案を行います。
- ・ 平成 23 年度に「堂ヶ谷トンボの里」の改修事業が「堂ヶ谷トンボの里をしらべる会」によって行われました。その事業後の管理作業に協力します。

③自然修復・再生事業

- ・「身近な水環境一斉調査」に協力するかたちで、河川等の水質調査を行い、再生事業などに役立てます。なお、身近な水環境一斉調査は 2004 年の第一回から継続して参加しています。
- ・矢落川のオオフサモ(特定外来種)の除去実験を、大洲河川国道事務所 肱川出張所と大洲農業高校に協力して行っており、経過を観察します。
- ・河川工事における生物救出作戦を実施します。
- ・千丈川および喜木川・宮内川などの八幡浜市の河川の魚類の調査を継続して行います。また、小田川の魚類の調査についても継続します。
- ・「肱川上流の魚図鑑」の作成に向けて、肱川上流の魚類の調査を継続します。対象範囲を、肱川上流を鹿野川ダムより上流部とします。
- ・私設保護区である「サンクチュアリどんぐり」の生物調査を実施し、ノウハウの蓄積をします。環境省の推進するモニタリングサイト 1000 の里地調査の一般サイトに登録して、植物相、チョウ類、鳥類、中・大型哺乳類の調査項目について 2009 年から調査を継続中です。2013 年から、植生図(人為的インパクト)とホタル類の調査項目を追加しました。さらにノウハウの蓄積を行います。なお、「堂ヶ谷トンボの里をしらべる会」が水環境とカエル類の調査項目を行っているので、南予で里地調査のカヤネズミ以外の調査項目が行われています。
- ・中・大型哺乳類のノウハウを利用して、八幡浜市と協働して、イノシシの撮影頻度の調査を継続します。また、八幡浜市のセンサーカメラ 4 台の運用を委託で受け継続します。
- ・北上しているニホンジカの動向調査を継続します。
- ・環境基本計画を作成している内子町の実施計画にかかわる調査に継続して協力します。主に、トンボ類の観察会とホタル類の発生状況の調査と、小田川の水生昆虫の調査・観察会に協力をします。
- ・大きな榎の木の下で実行委員会より、内子町小田川における環境調査の委託があれば、継続して実施します。調査項目は、鳥類、魚類、カニかご。
- ・トンボ調査・西日本 2020 に引き続き協力します。愛媛実行委員会に加わり、南予北部を主に担当します。

※下線部は新規および変更部

2020年度 特定非営利活動に係る事業 予算案

2020年4月1日から 2021年3月31日まで)

特定非営利活動法人 かろうそ復活プロジェクト

科目	金額	備考
I 収入の部		
1 事業収入		
自然・環境学習事業	45,000	
自然・公園管理事業	2,000	
自然修復・再生事業	2,000	
助成金事業(三浦保愛基金)	490,000	「肱川上流の魚図鑑」の作成・配布 申請中
調査委託事業1	150,000	内子小田川調査業務
調査委託事業2	99,000	八幡浜市哺乳類調査
2 寄付金等収入		
寄付金収入	10,000	
3 雑収入		
受取利息	2	
当期収入合計(A)	798,002	
前期繰越	328,168	
収入合計	1,126,170	
II 支出の部		
1 事業費		
自然・環境学習事業	25,000	学ぶつどい等
自然・公園管理事業	2,000	
自然修復・再生事業	40,000	
助成金事業(三浦保愛基金)	496,600	「肱川上流の魚図鑑」の作成・配布 申請中
調査委託事業1	120,000	内子小田川調査業務
2 管理費		
保険費	12,000	
消耗品費	20,000	
図書費	5,000	
会議費	8,000	
運営費	70,000	
3 予備費	327,570	
当期支出合計(B)	798,600	
当期収支差額(A)-(B)	-598	
当期支出合計	1,126,170	

(単位:円)